

## 非接触体温計 NT13

## 【警告】

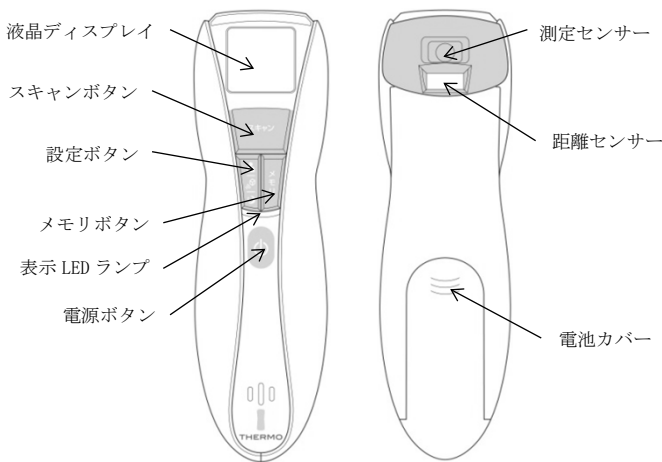
- ・本体を落下したり、ぶついたりして外部から強い衝撃を与えないこと。特に測定センサー部分に衝撃を与えないこと。[故障の原因となる。]

## 【禁忌・禁止】

- ・体温測定時の表示部のアイコンだけで発熱の有無を判断しないこと。[人によって発熱と判断される温度は異なる。]
- ・本品の仕様及び使用上の注意等に示された使用条件を満たさない状態で使用・保管・修理や改造、調整などを行わないこと。[これらに起因する損害については一切の責任を負わない。]

## 【形状・構造及び原理等】

## 1. 本体の形状図



## (その他の付属品)

取扱説明書(保証書付)×1部、クイックマニュアル×1部、添付文書×1部、単4形アルカリ乾電池×2本、収納ケース×1個、

- 本体の寸法及び重量
  - ・寸法：縦141×横41×高さ55(mm)、公差±10%
  - ・重量：約70g(電池含まず)、公差±10%
- 電気的定格及び分類等
  - ・電源：単4形(1.5V)アルカリ乾電池×2本
  - ・電源電圧：DC3V
  - ・消費電力：0.02W
  - ・電撃に対する保護の形式：内部電源機器
  - ・電撃に対する保護の程度：BF形装着部
  - ・電磁両立性(EMC規格)：EN60601-1-2：2007に適合。
- その他の仕様等
  - ・測定精度
 

体温計	：±0.2℃(36.0～39.0℃) ±0.3℃(≤35.9℃、39.1℃≤)
温度計	：±1℃(0～20℃) ±5%(20.1～100℃)
  - ・測定範囲
 

体温計	：10～50℃
温度計	：0～100℃
  - ・作動条件：16～40℃、≤85%RH(結露のないこと)
  - ・保管条件：-25～+55℃、≤85%RH(結露のないこと)
  - ・最小表示単位：0.1℃
  - ・電池寿命：約半年(約3000回の測定を目安)
- 動作原理

すべての物体は、表面から温度に応じた赤外線量を拡散放射しており、この赤外線量を赤外線センサーで検知し、温度に換算することにより物体の温度を接触することなく知ることができる。

本品は2つのセンサー(①赤外線センサー、②距離センサー)を利用している。①赤外線センサーは額の温度を測定するセンサーである。

赤外線センサーのサーモパイルは赤外線を感知すると赤外線量に応じた電圧を発生させる。生み出された電圧はAD変換器によりアナログ信号からデジタル信号に変換される。このデジタル信号が体温に変換され、測定結果が分かる。②距離センサーは表示LEDランプの点滅と電子音で、測定のための額と体温計の距離が適切であることを知らせるためのものである。距離センサーは距離測定LEDより放射された赤外線が、被測定物より反射して戻って来た時間を使用して、独自の計算方式により体温計と対象物との距離を算出する。

上記により、額と体温計間の距離を一定に保ち、額で測定した温度は臨床試験に基づいて独自に作成した換算方式によって舌下温に換算されている。















## 【使用目的又は効果】

本品は患者の体温を測定し、表示する。本品は皮膚上のある部位(額)の赤外線放射量を測定することによって、同部位の温度を推定するために用いる。舌下温への換算機能がある。

## 【使用方法等】

- 使用前の準備
  - (1)背面の電池カバーを水平に取り外す。
  - (2)単4形アルカリ乾電池2本を電池マークと同じ方向の通りに交換する。
  - (3)電池カバーを元通りに水平に戻す。
- モードの選択
 

本品は使用目的に応じて、以下の3種類のモードが選択可能である。

  - (1)体温計モード(「」マーク)  
額部の温度を舌下温に換算して表示する。
  - (2)温度計モード(「」マーク)  
物体の表面温度を測定する。
  - (3)サイレントモード(「」マーク)  
額部の温度を舌下温に換算して表示する。操作時に電子音が鳴らない。
- 体温計モード
  - (1)「電源ボタン」を押して電源をオンにする。画面にすべてのマークが表示され測定準備が始まる。
  - (2)「ピッ」と電子音が鳴り、画面上に「」と「」マークが表示される。この時は体温計モードとなっている。
  - (3)「スキャンボタン」を長押しすると、矢印「」が表示される。
  - (4)「スキャンボタン」を押したまま、額部とセンサー部分が垂直になるように向け、約4～6cm程度離す。額部とセンサー部分の距離が適正になると、「ピッ・ピッ」と電子音が繰り返し鳴り、「表示LEDランプ」が点滅する。
  - (5)電子音と「表示LEDランプ」の点滅を確認後、その位置を保持したまま「スキャンボタン」から指を離す。このとき、「スキャンボタン」から指を離した後も額部へ向けた状態で「ピッ」と電子音が鳴るまで保持する。約1～2秒後に測定結果が画面に表示される。
- 温度計モード
  - (1)電源ボタンを押して電源をオンにする。画面にすべてのマークが表示され測定準備が始まる。
  - (2)「ピッ」と電子音が鳴り、画面上に「」と「」マークが表示される。温度計モードに変更するには「設定ボタン」を温度計モードの「」マークが表示されるまで繰り返し押す。
  - (3)温度を測りたいものとセンサー部分が垂直になるように向け、約4～6cm程度離す。次に「スキャンボタン」を押すと、「」が表示され、測定が開始される。
  - (4)このとき、温度を測りたいものへ向けた状態で「ピッ」と電子音が鳴るまで保持する。約1～2秒後に測定結果が画面に表示される。
- サイレントモード
  - (1)電源ボタンを押して電源をオンにする。画面にすべてのマークが表示され測定準備が始まる。
  - (2)「ピッ」と電子音が鳴り、画面上に「」と「」マークが表示される。サイレントモードに変更するには「設定ボタン」をサイレントモードの「」マークが表示されるまで繰り返し押す。
  - (3)「スキャンボタン」を長押しすると、矢印「」が表示される。

- (4) 「スキャンボタン」を押したまま額部とセンサー部分が垂直になるように向け、約 4~6 cm 離す。額部とセンサー部分の距離が適正になると、「表示 LED ランプ」が点滅する。
- (5) 「表示 LED ランプ」の点滅を確認後、その位置を保持したまま「スキャンボタン」から指を離す。このとき、「スキャンボタン」から指を離れた後も額部へ向けた状態で約 2 秒間保持する。約 1~2 秒後に測定結果が画面に表示される。

## 6. お知らせ機能




- (1) 体温の測定値によって、マーク表示と電子音による通知を行う（ただしサイレントモードでは電子音は鳴らず、マーク表示による通知のみとなる。）。

### ①測定値<38℃のとき

「ピッ」という電子音 1 回とスマイリーマーク「☺」の表示。

### ②測定値≥38℃のとき

「ピッ・ピッ・ピッ」という電子音 3 回とアンスマイリーマーク「☹」の表示。

- (2) 電池残量が少ないと「」マークが表示される。また電池残量がゼロになると「」マークに加え、「」の表示がされる。

## 7. 電源を切る


- (1) 本体の使用後、「電源ボタン」を一度押すことで「ピッ」という電子音が鳴り、電源がオフになる（サイレントモードでは電子音が鳴らない。）。

- (2) 本体の使用後、約 60 秒間無操作であると、「ピッ」と電子音が鳴り、自動的に電源がオフになる（サイレントモードでは電子音が鳴らない。）。

## 8. メモリ機能

測定結果は最新 10 件まで自動的にデータとして保存される。

### (1) 保存データの確認

電源オンの状態で「メモリボタン」を一度押すと、メモリマーク「」とメモリ番号、直前の測定結果が表示される。「メモリボタン」を繰り返し押すことで保存データを 1 件ずつ遡ることで、最新 10 件までの確認が可能である。

### (2) 保存データの削除

「メモリボタン」を 3 秒以上長押しすることで、電子音が「ピッ」と 1 回鳴り、画面に「--」と表示される。これによりすべての保存データが消去される。

- (3) 特定のデータだけの削除はできない。

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

- 測定結果の自己判断や治療は危険なため、必ず医師の診断を受け、指導に従う。
- 本体、付属品、電池等は子供や乳幼児の手の届かない場所に置く。[誤飲やけがの恐れがある。]
- 子供だけの使用はさせない。[けがの恐れがある。]
- 本体の分解、修理、改造をしない。[故障、不具合などの原因となる。]
- 本体に損傷や故障、異常が疑われる場合は使用しない。またこれらが使用中に生じた場合は直ちに使用を中止する。[けがや故障、不具合などの原因となる。]
- 製品仕様における温度範囲外の温度の測定はやめること。[製品性能に悪影響を及ぼす場合がある。]
- 製品仕様における周囲環境条件の許容範囲外での使用はやめること。[製品性能に悪影響を及ぼす場合がある。]
- 測定センサー、距離センサーなどのセンサー部に直接触れない。[レンズが傷つき、製品性能に悪影響を及ぼす場合がある。]
- 測定センサー、距離センサーなどのセンサー部と測定対象を接触させない。[レンズが傷つき、製品性能に悪影響を及ぼす場合がある。]
- テレビ、電子レンジ、携帯電話などの強い静電気や電磁波を発生するものに近づけない。[製品性能に悪影響を及ぼす場合がある。]
- 本体を水などの液体から避ける。[故障や感電の原因となる。]
- 本体に水などで濡れた手で触れない。[故障や感電の原因となる。]

### 2. 使用上の注意

- 舌下温は腋下温と比べ高いのが一般的である。個人差があるため、あらかじめ本品で平熱を把握しておくこと。
- 測定時はあらかじめ 30 分ほど測定環境の温度に馴染ませる。[急激な温度変化は、製品性能に影響を与える。]
- 測定前に長時間本体を持たない。[本体が温まり正しく測定できない場合がある。]
- 体温の測定をする際、興奮時や発汗時、皮膚が紅潮しているとき、脈拍が早いとき、血管収縮薬などの薬剤摂取時、皮膚のかぶれがあるときなどには正しく測定できないことがあることに留意する。

- 測定部位の温度が奪われるような通気の良い場所では測定しない。[正しく測定できない場合がある。]
- 暖房機の近くなど、温風が直接あたるところで測定しない。[正しく測定できない場合がある。]
- 体温の測定をする際、飲食後、運動後、入浴後はすぐに測定せずに 30 分ほど待ってから測定する。[測定値が高く出る場合がある。]
- 体温の測定をする際、冷湿布などを測定部位（額部）に当てていた場合など、測定部位が冷やされているときは 30 分ほど待ってから測定する。[測定値が低く出る場合がある。]
- 測定部位の汗や化粧品、汚れは拭き取ったあと測定する。[正しく測定できない場合がある。]
- 体温の測定をする際、額部以外の部位に対して使用しない。[額部を測定部位として設計されているため、他部位では正確に測定できない。]
- 測定の際は 3 回連続で測定し、それらの平均値を結果とすることを推奨している。
- 連続しての測定は 20 秒程度の時間をあけてから行う。
- 表示部にエラーメッセージが表示された時は、取扱説明書の「トラブルシューティング」の項目を確認して対処する。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 保管方法

- 保管条件：-25~+55℃、≤85%RH（結露のないこと）
  - 製品仕様の範囲外の環境下（温度、湿度）での保管はしない。[故障や不具合など、製品性能に悪影響を及ぼす場合がある。]
  - 付属の収納ケースに入れて保管する。
  - 直射日光、電磁波、ホコリなどは避けて保管する。
  - 乳幼児や小さな子供の手の届くところは避けて保管する。
  - 傾斜、振動、衝撃等注意し、安定した場所に保管する。
  - 水などの液体のかかる場所は避けて保管する。
  - 長期間使用しない場合は本体より電池をはずして保管する。[電池から液が漏出し、重大な障害の起因となる恐れがある。]
- ### 2. 有効期限・使用期限
- 耐用年数：4 年 [自己認証による]

## 【保守・点検に係わる事項】

- 定期的に清掃を行い、本体が常に清潔であるよう心がけること。[センサー部の汚れなどにより、測定が不正確になる恐れがある。]
- 本体の清掃は、乾いた柔らかいタオルで拭いて行う。
- 清掃に研磨剤、シンナー、ベンゼン等は絶対に使用しない。
- センサー部の清掃は、消毒用アルコールに浸した綿棒でやさしく拭いて行う。
- 直接水や消毒用アルコール等をかけての清掃はしないこと。
- 熱湯消毒をしないこと。
- 電池残量が少ない又はゼロになった場合、速やかに電池交換をする。
- 本体が濡れているときや湿気の多い場所では絶対に電池交換をしない。また濡れた手で電池交換をしない。[感電の恐れがある。]
- 新しい電池と使用済み電池、銘柄や種類などの異なる電池を混ぜて使用しない。
- 指定されている電池以外は使用しない。
- 電池のプラス、マイナスを逆にして使用しない。
- 本体や使用済み電池を廃棄の際は、産業廃棄物として各自自治体の規定に従い処理すること。[火災・事故の原因となる。また環境保護のため。]

## 【主要文献及び文献請求先】

### 1. 主要文献

文部省総合科学研究季節生理班(1975);体温測定法に関する研究一特に口腔温測定法.日新医学,44:469-480

### 2. 文献請求先

株式会社ジェイ・シー・ティ  
〒731-0138  
広島県広島市安佐南区祇園一丁目 28 番 7 号  
082-871-3308

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名または名称等】

製造販売業者：株式会社ジェイ・シー・ティ  
〒731-0138  
広島県広島市安佐南区祇園一丁目 28 番 7 号  
082-871-3308

製造業者：AVITA (WUJIANG) CO., LTD  
輸入先国：中華人民共和国